

登録コード	J6961100	開講年度	2026			
授業科目	学際・実務特別講義（アジア法入門）				担当教員	PARK JU HEE 他
英文授業名	Introduction to Asian Law - focus on Korea and Taiwan				副担当	WU PO TSANG・小林 寛
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学年
講義室	経法第3講義室	授業区分	講義	遠隔授業科目		（23カリ対象科目）法：1年
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	経法23加（2026改）・総合法律，経法23加・総合法律					
	法学の専門領域の基礎能力として、リーガルマインドを備え、現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。				リーガルマインドを備え、現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要なアジア法（主に韓国法と台湾法）に関する基礎的な知識を身につけ、日本法との異同について、その概要を説明することができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	この科目では、韓国及び台湾の社会の構造などを含む法制度全般について、その基礎的内容を学ぶ。日本法との異同への意識・理解を通じて、グローバルに活躍する人材に必要な視野を養うことを目標としつつ、副次的に、履修者に海外留学のために必要な素養を備えていただく。 授業は、韓国法と台湾法を6回ずつ行い、それぞれの法制度の特徴や近年注目されている法的テーマなどを取りあげる。教員による講義をベースにしつつ、日本との比較の場面で履修生と議論することも予定している。なお、実際の講義状況に応じて、予定された授業計画を微調整することもあり、その詳細については授業で周知する。					
(5)授業計画	1．ガイダンス 2．韓国法 大統領をも罷免する憲法の番人（憲法と憲法裁判所） 3．韓国法 国民が裁く法廷（司法制度と国民参与裁判） 4．韓国法 あるけどない死刑制度（犯罪状況と刑事手続） 5．韓国法 SNS時代につながる社会の光と影（最近の犯罪対策） 6．韓国法 国が「推し」て、法が「縛る」？（K-コンテンツと法） 7．韓国法 もしあなたが韓国で暮らすなら？（外国人と法） 8．台湾法 だから台湾食が美味しいんだ（スクランブル社会の法制度の基本） 9．台湾法 最高裁は1つじゃない！？（司法制度） 10．台湾法 トップ選びから原発再稼働まで貴方の一票で（民主社会での政策形成） 11．台湾法 治安が良いのに刑務所がパンパン（犯罪状況とその対策） 12．台湾法 パパのパートナーもパパ（親族と法） 13．台湾法 それでもスクランブルが続く（少子高齢化・移民社会と法） 14．アジア法に生きる英米法（英米法って何？） 15．アジア法に生きる英米法（韓国・台湾・日本の法と英米法）、授業アンケート					
(6)成績評価の方法	・中間レポート（50％） ・期末レポート（50％） レポートの実施（指定内容、締切日など）については、初回の授業で説明する。					
(7)成績評価の基準	レポートについて、以下の基準で評価する。(i)論題の設定が適切かつ問題の背景を正しく理解しており、(ii)現状にどのような課題があるのかを、現存する見解への把握を通じて指摘することができ、(iii) そのうえで自分の見解を提示できており、(iv) その自説にかなりの説得力があると認められる場合は「卓越している」とする。(i)から(iii)を満たしていれば「かなり上にある」とし、(i)と(ii)を満たしていれば「やや上にある」とし、(i)を満たしていれば「合格水準にある」とする。					
(8)事前事後学習の内容	この科目の学習にあたり、取り上げられる外国法のトピックについて、教科書・参考書の該当箇所を読んで予習しておくこと、そして、それに関する日本法の知識を仕入れておくことをお勧めする。また、受講後、疑問に思う点について、復習を兼ねてリサーチすることもお勧めする。					
(9)履修上の注意	この授業は、本学部生の海外留学の土台作りも視野に入れて、それに関連する内容を講義に取り入れるが、履修のための韓国語又は中国語能力を問わない。授業進行において、日本との比較の場面で履修生と討議することもあり、その実施を円滑にするために履修者の出席への協力が必要であることを併せてご注意いただきたい。					
(10)質問,相談への対応	授業内容に関する質問は、講義終了後に教室で受け付けるほか、担当教員へのメールでも対応する。					
【教科書】	1．尹龍澤ほか編著「コリアの法と社会」日本評論社 ISBN 978-4-535-52270-1 2．蔡秀卿・王泰升編著「台湾法入門」法律文化社 ISBN 978-4-589-03792-3					
【参考書】	樋口範雄 著「はじめてのアメリカ法（補訂版）」有斐閣 ISBN 978-4-641-04812-6					